

山岳ガイドを志望する方へ(20251201)

プロフェッショナルとしてのガイドを目指す皆さんは、アマチュアである一般の登山者やクライマーよりも豊富な経験、より困難な状況での成功・実績、技術を持っている必要があります。そのため、「条件の良い時に短期速攻で登るような登山スタイルだけではなく、ある程度の長期間、重厚な山とじっくりと取り組み、アルピニズムの本質であるルートの終了点としての山頂にこだわるスタイルも経験して欲しい。」を要求します。

なぜならば山頂を目指す過程の中で、天気や雪の条件の良い時も悪い時なども含めた、幅の広い経験が積めるからです。

また、現代の技術や知識は、先人からの継承によって確立されてきているため、登山史、登攀史や文化、スタイルの変容（国内、海外ともに）なども知識として理解、把握しておいて欲しいと願います。

本文書は以下の構成である。

P1：本ページ

P2：書類審査基準

この基準を超えた者が書類審査に応募して下さい。

応募者の記入用の書類は「登山歴ガイド歴報告書 2023（山岳ガイド用）」

P3：これまでに自分が実践してきた山、登攀について、どのような思い（ルートの選び方、コンセプト等）、好みのタイプ等を 400 字以上で書いて下さい。山岳 I のみ必要。

山岳 I・II 受験資格における登山経験・技術基準表 (2026 年～)

20251201

	山岳ガイドステージ I	山岳ガイドステージ II
山行 日数	300 日以上 (以下を含む) ・積雪期の標高 2000m 以上の経験が 100 日以上 * 北海道については標高 1300m 以上	450 日以上 (以下を含む) ・積雪期の標高 2500m 以上の経験が 180 日以上 * 北海道については標高 1500m 以上
縦走登山	積雪期幕営山行 4 泊 5 日間以上を 3 回以上	積雪期幕営山行 4 泊 5 日間以上を 5 回以上
標高	標高 3800m 程度までの登山にて問題ないこと	標高 3800m 程度までの登山にて問題ないこと
登攀	<u>無積雪期</u> ・ 3 級+以上を 15 本以上 <u>積雪期</u> ・ 3 級-以上を 10 本以上 (無積雪期、積雪期共に足尾山塊は含まない)	<u>無積雪期</u> ・ 4 級以上を 15 本以上 <u>積雪期</u> ・ 4 級-以上を 10 本以上 (無積雪期、積雪期共に足尾山塊は含まない)
フリー クライミ ング	・ トラッドクライミングルート (5.10a) とスポ ーツクライミングルート (5.10a) のレッドポイ ントが各 15 本以上 ・ 登山靴で IV 級-まで確実にリードできる	・ トラッドクライミングルート (5.11c) とスポ ーツクライミングルート (5.11c) のレッドポイントが各 15 本以上 ・ 登山靴で IV 級+まで確実にリードできる
アイス クライミ ング	・ IV 級 30m 程度の氷壁を確実にリードできる ・ 上記を含む 2 ピッチ以上のアイスクライミング ルートの経験が 10 本以上	・ V 級 40m 以上の氷壁を確実にリードできる ・ 上記を含む 3 ピッチ以上のアイスクライミングル ートの経験が 10 本以上

注：

- (1) 無積雪期(6月～11月)、積雪期(12月～3月)、残雪期(4～5月)とするが、エリアにより考慮する。
- (2) 全て 15 年前までの記録とする。
- (3) ガイド登山、公募隊登山、指導者の元におけるクライアントとしての山行は含まない。
- (4) 岩壁登攀はルートの 50%以上をリードしていること。
- (5) アラビア数字はルートグレード、ローマ数字はピッチグレード
- (6) 国内のローカルグレードやグレーディングされていないルート、困難な沢ルート、海外での岩壁・岩稜の登攀歴は内容を吟味して判定します。
- (7) グレードに関して下記の書籍等を参考とする。

「日本の岩場 上・下」(白山書房)、「冬期クライミング」(白山書房)、「日本 100 岩場」(山と溪谷社)

「新版アイスクライミング」(白山書房)、「北海道の山と谷」(山と谷制作会)

「これまでに自分が実践してきた山、登攀について」

(どのような思いでルートを選び登ってきたか、記憶に残る登攀、好みの登攀タイプ、その他、自分の経験に対する思いを 400 字以上で書いて下さい。)

別途フリーフォーマットで書いて提出書類に添付してください。